

里親さん便り

～新しい飼い主さんとの出会いと近況報告～

① ミックス犬のぴっぴちゃん 宝塚市在住 Sさん

「ほんとに来るんだ。我が家に犬が！」朝から落ちてかめ2月の雪の日のこと。夫の腕の中ですっぱり納まり、小さなぴっぴはうちの子になりました。

事の始まりはその前夜、蟹鍋の席で聞いたわんこの里親探しのおはなし。Uさんがそんなボランティアをしている事も、芦屋動物愛護協会の活動もその時初めて知りました。犬をお店で買う事に抵抗があった私と、飼い主がない犬との運命の出会いです。

初日には、悲しそうに鳴きながらうろうろとUさんたちを探しまわり、ご飯も食べようとしなかったぴっぴでしたが…あれから9ヶ月が経ちすっかり我が家の一員になりました。

新米里親の私達も、Uさんや協会の方からアドバイスを頂きながら、なんとか飼い主らしくなってきたように思います。

ちょうど3番目の息子が巣立った時期でもあり、淋

さを隠せない私達の話はぴっぴのことばかり。3人の息子の子育てにはほとんど参加しなかった夫は初めて子煩悩な父親になりました。

その驚くべき変化は「俺オヤジにそんな優しく呼ばれた事なかったなあ」「どうした？オヤジ？」と息子たちが呆れるほど。正義の味方「番犬ぴっぴ」は、たまにしか帰って来ない彼ら(=不審者)を許さず必死で吠え立て、そんな困った事象には協会からのアドバイスが心丈夫です。

近頃のぴっぴは、よく不思議な場所に丸まって寝ています。(タオルの棚、脱衣籠、空き箱、雑巾の籠、雑貨の木箱 etc.)

「あらあらそんなところにいたの？」と抱き上げるとそこはホカホカ。私たちにたくさんぬくもりをもたらしてくれているぴっぴです。

息長く活動を続けてこられた動物愛護協会の皆様、ありがとうございます。これからもどうぞよろしく！



② 成猫のホヨちゃん 改め ボーノちゃん 山手町在住 Tさん

私がホヨちゃんの里親募集を知ったのは、20歳の老猫を天国に送った直後のことでした。動物病院に貼ってあったポスターがずっと気になっていて忘れられず、思い切って里親希望を申し出たのでした。

お見合いをしてみたら縁談成立！でも、我が家には先住の犬(図体に似合わず怖がりの4歳になるゴールデン)とチビ猫(生後7ヶ月のキジ)が居ます。ホヨちゃんは、そんな我が家の先住さん達と仲良く同居出来るのでしょうか。少し不安も感じます。最初のうちはケージに入れて別の部屋で…という協会の方のアドバイスを受けて、トライアルしてみることにしました。

そして数日後、我が家にやってきたホヨちゃんは、怖がる様子も見せず鳴く事も無く、バスケットの中からケージを組み立てる私達を見つめていました。大丈夫かなあ…と思いつつカゴのふたを開けてみたら、ピョコッと顔を出したかと思うと、直ぐにすり寄ってきてくれました。これは嬉しかったですね～

ホヨちゃん改め「ボーノ」と命名。ホヨちゃんが違和感を感じないように同じ母音で考えた名前です。(BUONOはイタリア語で「おいしい!」の意味)最初は、ケージに入れて扉は開けて部屋を閉め切った状態にしてその日1日過ごしてもらいました。落ち着いていて大丈夫そうなので、翌日は2階の部屋の扉を全部開けて、2階を自由に探検できるようにしてみました。

その後、ワンコとの対面をしたのですが、なんと！彼は自分から犬に擦り寄って行くではないですか。これには驚きました！まったく犬を怖がらないのですから。やがて、興味津々のチビ猫もやってきました。

先住の彼等に会ってもまるで自分がこの家の主だと言わんばかりに落ち着いた様子のボーノ。その物怖じしない様子には娘と笑ってしまいました。

翌日には、皆と平気でリビングで寝ているし、チビ猫のトイレを使っているし。なんて順応性のあるコなんでしょう！どうして、このコが今まで幸せになれなかったのでしょうか？

「うちに来るために待っててくれたんだよ」娘がそう言います。「そうだねー」私も、おなかの上で寝ているボーノをなでながら答えます。

ボーノは本当に可愛いくて性格の良いコです！チビを抱きしめて舐めてくれるのですよ。チビもそれに応えています。なんと心とむ光景でしょうか。そうかと思うと、突然鬼ごっこが始まって家中を駆け回っています。時々ワンコも一緒に参加して大騒ぎ！



彼を保護してくださった方、一時預かりやお世話をして下さった皆さん、本当にありがとうございました。皆さんの温かい手がなければ、このコは私達の元にはやって来られなかったでしょう。皆さんの愛情に包まれて、ボーノは優しいニャンコに育ってくれています。家族の一員として、最後まで大切に守っていきますので、ご安心下さいね。

里親募集のポスターは、市内の動物病院と協会の動物掲示板(市内16所)やペットショップで掲示しています。ポスター掲示にご協力頂ける方は、是非お申し出下さい。

